

日本公共政策学会 会報 No.64 2020年4月

PPSAJ Newsletter Public Policy Studies Association, Japan

1. 2020年度理事候補者選考に関するお知らせ
2. 2020年度研究大会開催案内
3. 「公共政策フォーラム2020 in 南伊勢」開催案内
4. 「公共政策フォーラム2021」開催予告
5. 学生政策コンペ(一般部門)開催案内
6. 理事会記録(第120回)
7. 新入会員紹介
8. 理事会開催のお知らせ
9. 事務局からのお知らせ

1. 2020年度理事候補者選考に関するお知らせ

理事候補者推薦委員会
委員長 市川 喜崇

次期理事の選出は、この6月の総会において行われますが、「理事選出に関する総会申し合わせ」(2003年6月14日総会承認, 2018年6月16日総会表記一部変更)に従いまして、総会開催前にあらかじめ会員に対して、総会で推薦する予定の理事候補者のリストを通知することになっております。委員会として、理事選出規程に基づいて理事候補者の推薦のための作業を終え、理事候補者の一覧を別紙で同封いたしました。ご意見等がございましたら、下記の理事候補者推薦委員長あてに 2020年4月24日までに 文書またはメールにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

同志社大学法学部 市川 喜崇

E-mail: yichikaw@mail.doshisha.ac.jp

2. 2020年度研究大会開催案内

■ 研究大会プログラム

2020年度研究大会企画委員会
委員長 岩崎 正洋

2020年度研究大会は、2020年6月6日(土)～7日(日)に関西大学(高槻ミュージックキャンパス)で開催されます。

今大会の共通テーマは、「公共政策と価値の問題」です。

初日の共通論題では、「公共政策系のテキストに求められるもの」というテーマをとり上げます。毎年のように刊行されている多様な公共政策系のテキストについて、そこでは何が論じられているのか、何が必要なのか、何が足りないのか、それぞれの編者や著者がどのような工夫をしてきたのかなど、問題提起を含め、学界における情報交換や情報共有のために、さまざまな議論ができればと思います。

二日目の共通論題では、「公共政策研究において価値の問題をどのように考えるか」というテーマをとり上げ、公共政策の研究において、価値の問題をどのように考えたらいいのか、これまでの公共政策の研究が価値の問題をどのように取り扱ってきたのか、これまでの研究蓄積において充実している点があるとすれば、それは何か、また、足りない点は何かなど、さらに、今後の公共政策研究において価値の問題をどのように考えていくのがいいのかなど、登壇者による問題提起や研究関心などをもとに議論を進めて行ければと思います。

初日の午前中には、若手報告セッションを設けます。また、二日間にわたり、さまざまな自由公募セッションや企画委員会企画セッションを用意し、例年通り、数多くの会員の皆様から最先端の研究成果を発表していただく機会を実現できればと存じます。

現在まだ最終的な調整を行っておりますが、4月の理事会後に直ちに学会ホームページで最終確定版のプログラムをお知らせできるものと思います。なお以下の通り、これまでの理事会で固まった内容をお知らせ致します。会員の皆様には、6月6～7日の学会参加を今から予定していただき、一人でも多くの方にご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

企画委員会セッション:

「研究者のキャリア・アップとワークライフ・バランス:研究者のダイバーシティ確保のために(その2)」

司会: 辻陽(近畿大学)

報告: 大谷基道(県職員からの転職)

松岡京美(韓国からの留学と学位取得・就職)

戸田香(マスメディア界に在職しながら学位取得、現在非常勤講師も)

「科学技術政策の民主的統制(仮題)」

司会: 山谷清秀(浜松学院大学)

報告: 村上裕一(北海道大学) (行政学, 国際比較の観点から)

橋本圭多(神戸学院大学) (政策学, 研究開発評価の観点から)

定松淳(東京大学) (社会学の観点から)

討論: 南島和久(新潟大学)

「コミュニティ政策のこれまで, これから」

司会: 森裕亮(北九州市立大学)

報告: 三浦哲司(名古屋市立大学) 「コミュニティ政策のこれまで, これから:旧自治省・総務省系の政策状況(仮題)」

内海麻利(駒澤大学) 「コミュニティ政策のこれまで, これから:旧建設省・国土交通省系の政策状況(仮題)」

討論: 長野基(首都大学東京)

「公共政策と価値対立(対立軸)(仮題)」

司会： 原田徹(佛教大学)

報告： 小林真理(東京大学)「公共政策における価値対立と合意形成—文化政策をめぐって(仮題)」

辻由希(東海大学)「『女性活躍』時代の家族像—家庭教育政策における価値対立(仮題)」

高橋洋(都留文科大学)「脱原発か脱石炭火発か?—エネルギー政策を巡る国際的な価値対立(仮題)」

討論： 松田憲忠(青山学院大学)

「電力の危機管理(仮題)」

司会： 宮脇健(日本大学)

報告： 上川龍之進(大阪大学)「原発再稼働をめぐる電力・エネルギー政策の検証(仮題)」

永松伸吾(関西大学)「(調整中)」

山本達也(清泉女子大学)「EROI 指標を用いた国際的なエネルギー環境分析が示す危機と地域電力への示唆(仮題)」

討論： 河村和徳(東北大学)

「地方創生の評価と課題(仮題)」

(調整中)

タイムテーブル

6月6日(土)		6月7日(日)	
10:00~11:30	若手報告セッション	10:00~12:00	企画委員会企画・自由 公募セッション
11:45~12:15	総会 I		
12:15~13:00	昼休み・理事会	12:00~13:00	昼休み
13:00~15:00	企画委員会企画・自由 公募セッション	13:00~15:00	企画委員会企画・自由 公募セッション
15:15~17:15	共通論題 I	15:15~15:30	若手優秀報告賞 表彰式
17:20~17:40	総会 II		
17:40~18:10	学会賞授賞式	15:30~17:30	共通論題 II
18:30~	懇親会		

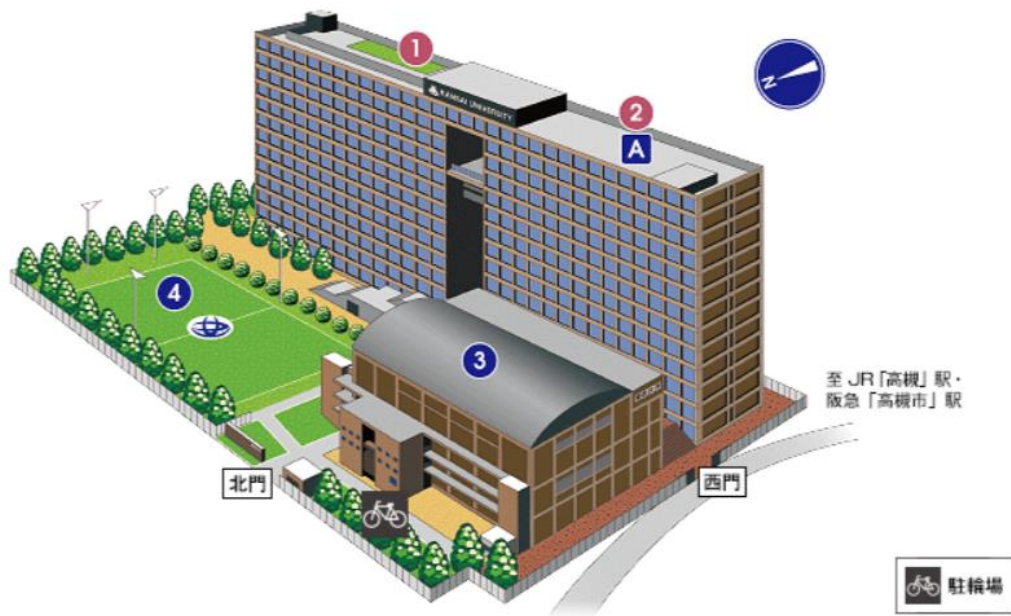
■ 会場等の案内

2020 年度研究大会実行委員会
委員長 永田 尚三

【会場】 関西大学高槻ミュージズキャンパス 大阪府高槻市白梅町 7 番 1 号

本キャンパスには、初等部が併設されているため、入構のセキュリティが非常に厳しくなっております。**当日は、必ず西門の守衛所で手続きをしてから入構していただくようお願いいたします。**学会受付は当日 9 時より、西館 5 階ミュージズホール入口にて開始いたします。なお、高槻には関西大学のキャンパスが 2 つあります。高槻キャンパスでは無く、**JR 高槻の駅からすぐ見える高槻ミュージズキャンパスの方が会場となります**ので、くれぐれも間違わぬよう注意してください(よく間違われる方がおられます)。

キャンパスマップ



<p>1 東館（初等部・中等部・高等部校舎棟） 関西大学初等部・中等部・高等部</p>	<p>3 北館（体育・厚生棟）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レストラン、購買店 ・ 武道場 ・ 室内温水プール ・ アリーナ
<p>2 西館（大学・大学院学舎棟、ミュージズオフィス） 社会安全学部・社会安全研究科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ミューズ大学図書館 ・ 関西大学児童図書館 ・ 安全ミュージアム ・ 生涯学習センター、キャリアセンター、エクステンション・リードセンター ・ ミューズ保健センター 	<p>4 グラウンド</p>
<p>■ ホール</p>	
<p>A ミューズホール（西館内）</p>	



【会場への交通アクセス】

- ◆ JRでのアクセス
JR京都線「高槻」駅(大阪・京都駅から共に約 15 分)下車, 徒歩約 7 分。
- ◆ 阪急電鉄でのアクセス
阪急京都線「高槻市」駅(大阪梅田・京都河原町駅から共に約 20 分)下車, 徒歩約 10 分。
- ◆ 新幹線「新大阪」駅からのアクセス
JR「新大阪」駅からJR東海道本線の京都・米原方面行で「高槻」駅下車。

【懇親会会場】

懇親会は、高槻ミュージックキャンパス北館 1 階のレストランミュージズで開催します。会費は 6,000 円の予定です。当日、受付にて会費をお支払いください。

【大会参加申込み】

大会への参加は、下記の URL の大会 HP よりお申し込みください(公開されるのは、4 月 25 日開催予定の理事会後になります)。懇親会の人数調整のため、なるべく 5 月 31 日(日)までに申し込みをお願い申し上げます。なお、非会員は、当日、受付で会場負担金(1,000 円)をお支払いください。

<http://www2.kansai-u.ac.jp/ppsj>

【大会案内・レジュメ集】

大会案内・レジュメ集は、上記大会 HP よりダウンロードできます。

【フルペーパー】

大会報告のフルペーパーは、2020 年 5 月下旬より上記大会 HP にてダウンロード可能となる予定です。こちらから事前にダウンロードし、当日ご持参ください。フルペーパーは期間限定公開で、2020 年 6 月末日に閉鎖しますので、ご注意ください。

フルペーパーのダウンロードフォルダーのパスワードは、XXXXXXXXXXです。⇒パスワードは発送されました会報をご覧ください。

【昼食】

昼食は北館 1 階のレストランミュージズが 6 日(土)は開いております。ただ飲食店は、キャンパス周辺に沢山あるので、高槻グルメマップを上記大会 HP にて掲載予定です。

【宿泊】

本キャンパスから最寄りの JR 高槻駅は、大阪・京都駅から共に約 15 分の好立地にあります。大阪か京都に宿泊されることをお勧めします。

【報告者などのみなさまへ】

会場には Windows10 の PC とプロジェクタがあります。USB メモリなどの外部メモリをお持ちください。持込 PC も接続可能です。ケーブルも用意してあります。詳細は、上記大会 HP にてご確認ください。

【連絡先】

関西大学社会安全学部 永田(消防・防災行政)研究室 s_nagata@kansai-u.ac.jp

※ 必ず、s_を nagata の前に付けてください。

【その他】

その他、情報に関しては、大会 HP でご確認ください。なお、コロナウイルスによる騒動がいつ終息するのか、本原稿執筆(3 月後半)時点では全く見えない状況です。本研究大会にも、影響を及ぼす可能性があります。最新情報に関しては、学会 HP や大会 HP(4 月 25 日開催予定の理事会後に公開予定)をご確認ください。

3. 「公共政策フォーラム 2020 in 南伊勢」開催案内

2020 年度公共政策フォーラム委員会
委員長 田口 一博

(1) テーマ

地域資源を活かした農村漁村集落の再生 ～生命力みなぎる常若のまちに向けて～

(背景)

南伊勢町は、1960 年をピークに人口が減り続けたことから、1980 年代に入り過疎対策に取り組んできました。しかしながら、人口減少、少子高齢化の傾向は止まらず、近年さらに加速化しています。

2005 年の国勢調査を基礎データとした前総合計画「絆プラン」による若者定住対策、2010 年の国勢調査を基礎データとした総合戦略による地方創生なども進めてきました。これらは一定の事業成果は出ているものの、若者の流出に歯止めをかけるまでには至っていない状況です。

さらに、最新の 2015 年の国勢調査を基にした将来推計人口によると、人口減少、少子高齢化の傾向は一段と厳しくなっており、町は将来の存続の危機に直面している状況にあります。

わたしたちは、町の存続が危機的な状況に陥ることを阻止し、将来も町が存続して、町民が幸せに暮らし続けていける町になるために、2019 年 9 月に南伊勢町総合計画「新絆プラン」を策定しました。

「新絆プラン」にもとづき、急激な人口減少に歯止めをかけるには、短期的には難しく 30 年という長期にわたって人口の流れや人口構成を改善していき、30 年後のめざす姿である、「生命力みなぎる常若のまち」を実現していきます。

また、30 年後のめざす姿を「生命力みなぎる常若のまち」としたのは、変化する時代のなかで、町も常に変化していくことが求められています。

しかし、時代に応じた変化をしそびれると、いつの間にか時代遅れとなり、弱り、衰えていきます。南伊勢町の人口減少の問題は、単に数が減ることだけが問題というわけではなく、最も深刻な問題は子どもがいなくなることで、小規模であっても『年齢構成のバランス』がよければ、まちには常に活力が生まれます。

そうなるには、子どもを生み育てる若者世代が町内に住み、いきいきと働きながら、次世代を担う子どもを安心して生み、育てられる町になることや、町民みんなが新しい若者世代を応援しつつ、自らもたとえ老年期になっても常に新陳代謝していくことで、心身の健康を保っていく必要があります。

町も地域も人々も、常に『新陳代謝』していくことで、若々しさを保ち、南伊勢町全体がいつまでも若々しくみずみずしい、躍動的な町となっていきたいという思いを込めて、この 30 年後のめざす姿を掲げました。

そして、30 年後のめざす姿を実現していくためには、従来の取組みをベースにその延長線で進めていても、現実的に困難です。そのため、「新絆プラン」では極端な人口減少・少子高齢化社会による本町最大の危機を乗り越え、活力ある町として将来にわたって存続していくために、30 年後の年少人口を増加させ人口構成割合を改善していく「南伊勢町V字回復戦略」に取り組むこととしました。

(コンセプト)

南伊勢町には、豊かな海と山、温暖な気候など自然の恵みがあります。特に漁業は、日本屈指の水揚げを誇り、人々の生活を支えてきました。農業も、温暖な気候を活かした、品質の良い作物が強みとなっています。

町民はこれら自然の恵みを糧として、なりわいとし、豊かな自然から多くの恩恵を受け、先人たちから様々な技術を受け継ぎ、地域コミュニティの中で、それを磨いてきました。

また、町内には漁村集落や農村集落があり、集落それぞれに生活様式や地場産業の特徴があります。そのなかで

町民は常に寄り添い、助けあい、工夫しながらたくましく地域コミュニティを築いてきました。集落には、漁村、農村集落などを社会背景に、それぞれ継承してきた文化や伝統があり、そこで暮らす人々のつながりを強め、今では自主防災組織の結成など、地域の貢献に役立っています。

産業面では、漁業、農業など、それぞれに課題を抱え、高齢化が進んで後継者不足に陥っています。今後はより多くの若者世代が担っていけるようにするために、この自然の恵みから新しい業務、職業、事業などの機会を創造し、産業を再生させていくことが、これからのまちの営みには欠かせません。

そのためには、産業や地域課題を解決するとともに、次世代の南伊勢町を担う人材の育成も大切です。南伊勢町では、幼児期の英語教育、小中学校でのふるさと教育、存続が厳しい南伊勢高校の活性化、担い手育成のために若者チャレンジなど、様々な年代や多方面から人材育成にとり組んでいます。

教育や人材育成に南伊勢町の特色を組み込むことで、若い世代が南伊勢町に魅力を感じ、世代が変わっても長く住み続けたいと思える町にし、南伊勢町がめざす 30 年後の姿を実現していきます。

(2) 会場

南伊勢町町民文化会館 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦 3917

※ 町ホームページ「施設マップ」 <https://www.town.minamiise.lg.jp/admin/jigyousha/1716.html>

(3) 実施日

2020 年 10 月 17 日(土)・18 日(日)

(4) 学生政策コンペへの応募方法など

A) 応募

- ◆ 公共政策フォーラム・学生政策コンペへの応募は1ゼミ1チームとします。なお、2020 年 9 月に日本公共政策学会関西支部が開催する「学生政策コンペ(一般部門)」に参加するゼミが同じ事業案で本フォーラムに参加することはできません。
- ◆ 公共政策フォーラムは学部生を対象としたものです。(大学院生は参加不可)
- ◆ 参加を希望されるチームは「公共政策フォーラム参加申込書」(学会ホームページからダウンロード)を開催事務局へ提出ください。なお、学会ホームページへのアップロードは、5 月上旬ごろとなる予定です。
- ◆ 応募締切は **2020 年 5 月 25 日(月)17:00 必着**です。

B) 応募後の提出資料

- ◆ 応募以後以下を電子メールにより提出していただく予定ですので準備をお願いします。
 - ① 審査用論文の提出: 2020 年 9 月 30 日(水)までに1万字程度(図表含む)の論文電子データを開催事務局あてに電子メール送付。校正を行い、10 月 6 日(火)に校了・確定版とします。
 - ② 当日発表資料の提出: パワーポイントの電子データを 10 月 12 日(月)までに開催事務局あてに電子メール送付してください。
- ◆ 電子データのファイル形式、送信方法等については、応募チームに別途ご連絡します。
- ◆ 締切等について変更が生じた場合には、日本公共政策学会ウェブサイトに掲載いたします。

(5) 宿泊先候補地

- ◆ 宿泊施設については各自で手配願います。応募チームには公共政策フォーラムへの協力をお願いしている町内宿泊施設の一覧をお送りします。

(6) 南伊勢町への交通アクセスについて

- ◆ 近鉄宇治山田駅、近鉄・JR参宮線伊勢市駅より三重交通路線バス約 50 分で町役場南勢庁舎のある五ヶ所地区に到着。1 日 7 便。
- ◆ 磯部バスセンターから 三重交通路線バス約 20 分。1 日 10 便。
- ◆ フォーラム開催日には会場まで近鉄の最寄り駅から貸切バスを往路、帰路とも運行する予定。申込や費用負担等は詳細が決まり次第、開催事務局から案内させていただきます。

※ 町内の公共交通手段が限られるので、事前調査等では移動方法の確認をお勧めします。送迎等を依頼できる宿泊施設もあります。

※ デマンドバス情報、町営バス時刻表・路線図

<https://www.town.minamiise.lg.jp/admin/shoshiki/kankyouseikatsu/bus/index.html>

(7) 開催事務局連絡先

南伊勢町役場まちづくり推進課 政策係

TEL: 0599-66-1366

FAX: 0599-66-1846

Mail: machi@town.minamiise.lg.jp

(8) 参考情報

南伊勢町総合計画「新絆プラン」(2019 年 9 月策定)

<https://www.town.minamiise.lg.jp/admin/shoshiki/machizukuri/shisaku/2906.html>

4. 「公共政策フォーラム 2021」開催予告

2020 年度公共政策フォーラム委員会
委員長 田口 一博

公共政策フォーラム 2021 の開催場所や開催時期等につきましては目下検討中です。確定し次第、会報や学会ウェブサイトでお知らせいたします。

5. 学生政策コンペ(一般部門)開催案内

学生政策コンペ(一般部門)実施委員会
委員長 永田 尚三

今期理事会では、前執行部からの引継ぎを受け、一般部門の学生政策コンペの試行に向けて具体案を作成し実施し、その経験に基づいて今後に向けての提案を行うことを目的に、学生政策コンペ(一般部門)実施委員会を設置し、準備を進めて参りました。具体案が以下の通り定まり、2020 年 9 月に開催が決定したのでお知らせいたします。

是非、参加をご検討ください(今回は試行のため参加チーム数を限定し、希望が多い場合は抽選等で選考をいたします)。

【日時】

2020年9月の関西支部研究大会の午後の部で実施(開催校の新年度後半の空き教室状況が4月にならないと確定しないため、4月に改めて開催日時をお知らせします)。

【会場】

関西大学高槻ミュージックキャンパス 大阪府高槻市白梅町7-1

※ 本会報に掲載されている、6月開催予定の日本公共政策学会2020年度(第24回)研究大会と同じ会場となります。詳細は、そちらをご覧ください。

【実施形態】

政策研究部門(研究志向の報告を行う部門)と政策提言部門(特定地域を対象を限定しない政策提言を行う部門)の2つのグループに分け、申込が多い場合は抽選等で各参加チームを3つ(計6つ)に絞って実施。なお、参加の申込状況によっては、2部門ではなく1部門で実施することもあり得る(いずれかの参加チームが3チームに満たない場合)。参加チームが所属する大学の所在地等は限定しない。ただ、学会関連企画に参加するチームの範囲をより広げていくことを目的として、公共政策フォーラムでの政策コンペへの過去の参加実績の少なさ等も考慮して選考を行うこともあり得る。また、同じ事業案で公共政策フォーラム・学生政策コンペに参加することは認めない。

【今後の日程】

3月に学生政策コンペ(一般部門)の概要についてHPで学会員に通知する(学会HPにアップ済)。更に詳細が決まり次第、随時HP上の通知内容を更新する。そして4月初めに開催日時、課題テーマ等をHPで告知する。5月31日にエントリー締切(受付:関西大学永田研究室 s_nagata@kansai-u.ac.jp)、抽選等も用いて6チームを選び即通知、8月31日に論文締め切り(提出先:関西大学永田研究室)で、即審査員に論文送付、9月に開催という流れ。エントリー及び論文提出に関しては、時間を厳守してください。日にちが変わると同時に締め切ります。

【表彰方法】

政策研究部門と政策提言部門の各グループで1チームずつ、優秀な発表について表彰する。日本公共政策学会ではなく、公共政策学会関西支部として表彰したい。報告の水準によっては、受賞校無しもあり得る。

【懇親会】

研究大会後に、懇親会を軽食立食形式で、関西大学ミュージックキャンパス1F 学食(レストランミュージック)において簡易に実施したい。学生も参加。アルコール類は出さない。

【審査方式】

審査員は各部屋3名。日本公共政策学会会員で関西支部メンバー以外から1,2名、他は関西支部の方で用意する。

【課題テーマ、審査ルール等】

研究志向型と政策提言型各グループの課題テーマ、審査ルール等に関しては、3月末日までに委員会内で決め、4月初めにHPで通知する。

【エントリー及び論文提出、その他連絡先】

関西大学社会安全学部 永田(消防・防災行政)研究室 s_nagata@kansai-u.ac.jp

※ 必ず、s_nagataの前に付けてください。

【その他】

その他、情報に関しては、学会 HP でご確認ください。なお、コロナウイルスによる騒動がいつ終息するのか、本原稿執筆(3月後半)時点では全く見えない状況です。本学生政策コンペ(一般部門)にも、何らかの影響を及ぼす可能性があります。最新情報に関しては、学会 HP をご確認ください。

6. 理事会記録(第 120 回)

開催日時: 2020年1月11日(土) 14時00分～17時30分

会場: 早稲田大学 26号館 7階 702

出席者: 縣公一郎, 浅野耕太, 市川喜崇, 岩崎正洋, 大山耕輔, 金子憲, 河村和徳, 田口一博, 谷口将紀, 辻陽, 中川雅之, 永田尚三, 福井秀樹, 松田憲忠, 松元雅和, 土山希美枝(監事)

委任欠席者: 砂金祐年, 宇佐美誠, 宇野二郎, 加藤淳子, 川勝健志, 焦従勉, 土屋大洋, 朽尾真一, 富澤守, 檜原真二, 野田遊, 廣瀬克哉, 福田耕治, 藤原静雄, 堀真奈美, 宮脇昇, 森裕亮, 山本健太郎

欠席者: 磯崎初仁, 伊藤久美子, 木寺元, 鈴木庸夫, 高村ゆかり, 増山幹高(監事)

報告事項

1. 2020年度研究大会

- ◆ 研究大会実行委員長の永田尚三会員より、2020年度の研究大会(2020年6月6日(土)～7日(日))に関西大学高槻ミュージックキャンパスで開催)の会場確保について予約を済ませていること、4月開催の理事会の際に会場の確認や準備状況の報告を行う予定であることが説明された。

2. 2020年度研究大会企画

- ◆ 2020年度研究大会企画委員長の岩崎正洋会員より、研究大会構成は、①共通論題(2セッション)、②企画委員会によるセッション(6セッション)、③テーマ別公募セッション(3セッション)、④若手研究者による研究報告セッション(セッション数未定)、⑤自由公募セッション(セッション数未定)となることの説明がなされた。
- ◆ 共通論題は「公共政策と価値の問題(仮題)」, テーマ別公募セッションは「政府間関係と公共政策の現在」「政策と失敗判断の検証」「地方議会と政策形成」となることと、企画委員会セッションの原案が示された。
- ◆ 最終的な構成については4月の理事会で確認を行うことが報告された。

3. 2020年度公共政策フォーラム

- ◆ 2020年度研究大会公共政策フォーラム委員長の田口一博会員より、2020年度公共政策フォーラムは2020年10月17日(土)～18日(日)に南伊勢町町民文化会館で開催されること、テーマは「地域資源を活かした農村漁村集落の再生～生命力みなぎる常若のまちに向けて～」となることが報告された。
- ◆ 交通手段としてバスを確保する準備を進めていること(事前申込のかたちを取る)、1日目の開会式が12時半から予定されていることを踏まえると理事会開催の日時や場所について検討を要すること、2日目の受付が早いので会場に近いところや送迎可能なところに宿泊することが推奨されること、宿泊先については観光協会を通じて案内する予定であることとの説明が行われた。
- ◆ 今後については、4月の会報でテーマの周知、5月25日にエントリー締切、9月末に審査用論文集締切、10月6日に論文データ提出と交流会・バス料金入金締切というスケジュールとなる予定であることが説明された。

4. 国際交流委員会構成

- ◆ 国際交流委員長の野田遊会員より(事務局代読)、2020年度国際交流委員会は、野田遊委員長のほかに、荒見玲子会員(名古屋大学)、菊地瑞夫会員(明治大学)、村山徹会員(名古屋経済大学)、森裕亮会員(北九州市

立大学)から構成されることが報告された。

5. 第 15 回京都から発信する政策研究交流大会での表彰

- ◆ 学会副会長の浅野耕太会員より、2019 年 12 月 15 日に龍谷大学深草キャンパスで開催された第 15 回京都から発信する政策研究交流大会に出席し、日本公共政策学会賞の表彰状と副賞(図書カード)を受賞者に授与したとの報告があった。

6. その他

- ◆ 理事候補者推薦委員長の市川喜崇会員より、次期理事候補者推薦に向けての作業は例年通り進められているとの報告が行われた。

審議事項

1. 査読評価基準・査読体制改定

- ◆ 学術委員長の福井秀樹会員より、『公共政策研究』の査読評価基準・査読体制の一部改定についての提案がなされ、審議の結果、提案された原案を基に学術委員会でも再度検討し、修正案について電子メールでの審議を行うことが承認された。

2. 投稿規定改定

- ◆ 学術委員長の福井秀樹会員より、『公共政策研究』の投稿規定一部改定の提案がなされ、審議の結果、承認された。
- ◆ 投稿原稿等の提出については、電子メールの添付ファイルの形で行うことが明記されることになった。

3. 学生政策コンペ(一般部門)

- ◆ 学生政策コンペ(一般部門)実施委員長の永田尚三会員より、学生政策コンペ(一般部門)(2020 年 9 月に関西大学高槻ミューズキャンパスで開催の公共政策学会関西支部研究大会の午後の部で実施)について、4 月発送の会報での開催通知、5 月末にエントリー締切、その後すぐに参加チーム(6 チーム)の選出、8 月末に論文締切というスケジュールについて報告された。

4. 印刷会社との契約

- ◆ 事務局より、『公共政策研究』の原稿提出や校正等に関わる印刷会社とのやり取りについて、事務局と印刷会社とのあいだで話し合いが行われたことが報告された。そのうえで、窓口を年報委員会の一元化すること(個々の執筆者と印刷会社とのあいだでは直接的なやり取りは行われないこと)、校正に関わるやり取りについてはハードコピーを基本とすることといった印刷会社からの提案について説明が行われた。この提案について審議を行い、承認がなされた。また、印刷費についても今後検討する必要があることについて確認された。

5. 会員移動

- ◆ 事務局より、前回理事会から約 1 か月のあいだに入会希望の申し込みはなかったことが報告された。
- ◆ 会員数は、前回理事会のときから変わらず、個人会員が 952 名、団体会員が 5 団体である。

6. その他

- ◆ 縣公一郎会長より、学会ウェブサイトの英語版作成を進める必要性についての提案がなされた。審議の結果、ウェブサイト英語版作成の具体化に向けて、国際交流委員会と事務局を中心に進めていくことが承認された。
- ◆ 次回理事会(第 121 回)は、2020 年 4 月 25 日(土)午後、関西大学高槻ミューズキャンパスにて開催される予

定であるとの報告が事務局より行われた。あわせて、同日午前中に監査が、正午ごろに学会賞選考委員会が行われること、そして、いずれの開催についても、詳細は後日連絡することも報告された。

7. 新入会員紹介

第 120 回理事会で承認された新入会員

今回は入会希望の申し込みはありませんでした。

8. 理事会開催のお知らせ

第 121 回理事会

- ◆開催日時：2020年4月25日(土)
14時開始
- ◆会場： 関西大学高槻ミューズキャンパス
13階特別会議室

第 122 回理事会

- ◆開催日時：2020年6月6日(土) 開催予定
開始時刻調整中
- ◆会場： 関西大学高槻ミューズキャンパス
会場調整中

9. 事務局からのお知らせ

2020 年度年会費納入のお願い

個人会員は 8,000 円/年(大学院生の会員は 5,000 円/年。ただし、大学院生の会員は、年度当初に在学証明書の提出が必要)、団体会員は 50,000 円/年です。2017 年度以前の年会費未納の会員の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。年会費未納の会員の方は、会員名簿、会報、学会誌の受領、大会・フォーラムへの参加、連携団体の会合出席等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意くださいようお願いいたします。

口座番号は次のとおりです。

郵便局

郵便振替口座： 00850-0-216663
加入者名： 日本公共政策学会

他金融機関からのお振込の場合

ゆうちょ銀行
店番： 089(店名：ゼロハチキユウ)
当座預金： 0216663
加入者名： 日本公共政策学会

日本公共政策学会 会報 第 64 号

2020年4月10日発行

編集・発行

日本公共政策学会事務局

〒150-8366

東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学 法学部 松田研究室

学会メールアドレス： jimukyoku@ppsaj.jp

学会ウェブサイト： <http://www.ppsaj.jp/>

郵便振替口座： 00850-0-216663 日本公共政策学会

PPSAJ Newsletter No.64, August 2020

Copyright 2020 Public Policy Studies Association, Japan